

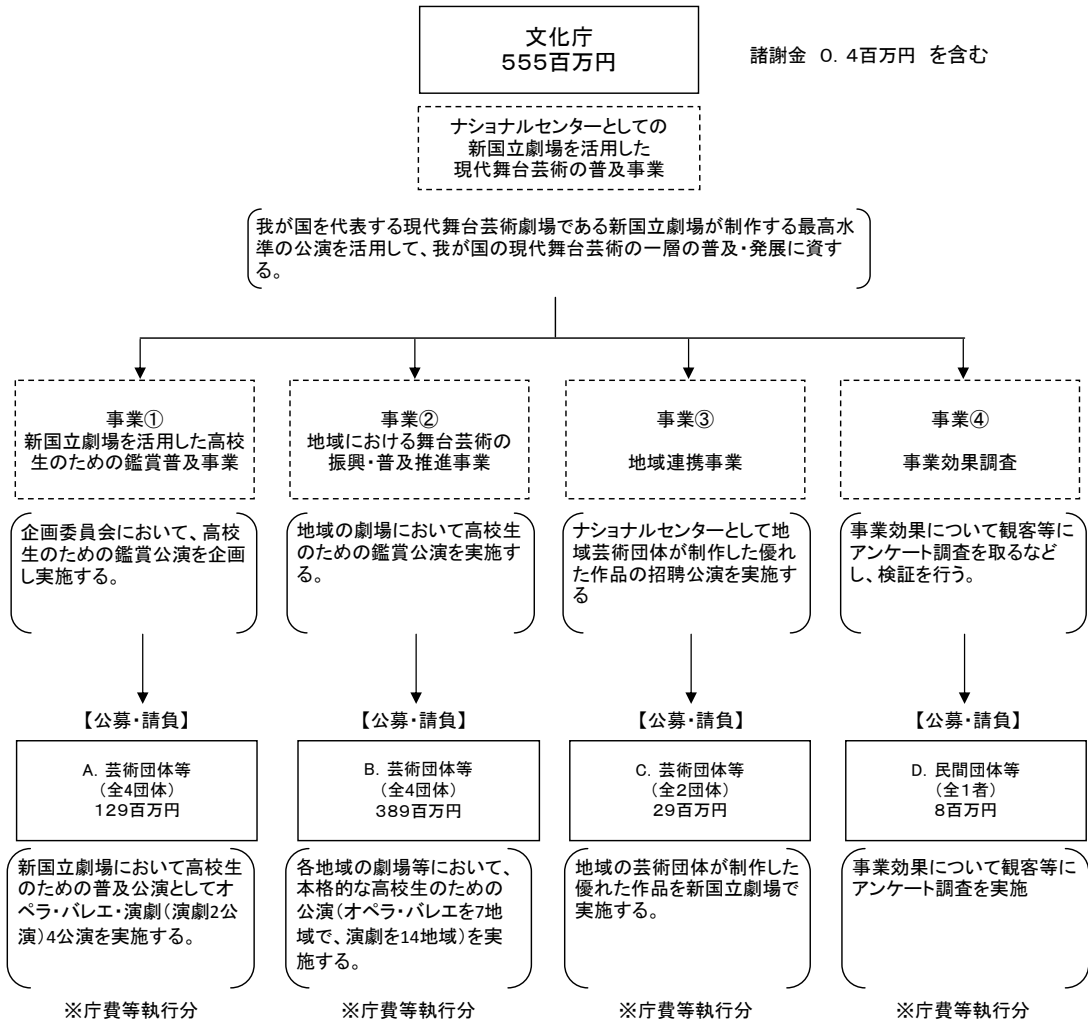
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	ナショナルセンターとしての新国立劇場を活用した現代舞台芸術の普及事業		<b>担当部局庁</b>	文化庁		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	芸術文化課		芸術文化課長 山崎秀保	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XⅢ-1 芸術文化の振興			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	文化芸術振興基本法 第14条、第21条		<b>関係する計画、 通知等</b>	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次) (平成23年2月8日閣議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	現代舞台芸術に関する我が国を代表する劇場である新国立劇場が制作する最高水準の公演を活用し、高校生への鑑賞機会の提供を通じて新たな観客層の開拓等を図ることにより、我が国の現代舞台芸術の一層の普及・発展を促進する。						
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	<p>将来の観客となり得る若い世代の人たちに我が国の現代舞台芸術の魅力を理解してもらうため、全国の高校生に対して、新国立劇場が制作する最高水準のオペラ、バレエ、演劇等の現代舞台芸術公演の鑑賞機会を、新国立劇場及び各地の劇場等において提供する事業等を行う。</p> <p>【事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立劇場を活用した高校生のための鑑賞普及事業</li> <li>・地域における舞台芸術の振興・普及推進事業</li> <li>・地域連携事業</li> </ul>						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					555
	執行額						555
執行率(%)							
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	ナショナルセンターとしての新国立劇場を活用して鑑賞機会の充実を図り、現代舞台芸術の発展を目指すものがあるが、効果は長期間にわたって不定期に表れると考えられるため、成果を定量的に示すことは困難である。		成果実績				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地域における舞台芸術の振興・普及推進事業(高校生のための普及公演)を全国21カ所で行う。		活動実績 (当初見込み)	公演			( )
<b>単位当たり コスト</b>	19(百万円/公演)		算出根拠	地域における舞台芸術の振興・普及推進事業(高校生のための普及公演)要求額 389百万円/21公演			
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金等		0.4				
	芸術祭等運営費		555				
計		555	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>我が国の文化芸術の振興を図るためには、文化芸術を国民の身近なものとし、その居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加することが出来る環境を整備することが国の責務である。これまでも次代を担う若い世代が生舞台を鑑賞する機会や若い才能が芽生えるきっかけを作る施策を実施するとともに、全国の劇場・音楽堂の創造発信活動を支援することにより幅広い観客層の開拓や創造力の育成に努めてきたところであるが、本事業は、その効果を更に高めるために、我が国を代表する現代舞台芸術の拠点である新国立劇場のノウハウを活用するものであり、国民のニーズ、コストの面から見ても最善の方策である。最高水準の現代舞台芸術公演を鑑賞する機会を全国の高校生に提供することは、地域の劇場にもそのノウハウが蓄積され、地域の文化芸術水準の向上に貢献するとともに、公演が行われることによる地域の活性化という効果も生じる。我が国の文化芸術の振興のため、本事業は国の責務として実施すべきものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く被災地のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.芸術団体等(全4団体)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	@49.9百万円×2回(オペラ・バレエ)	100			
公演費	@14.7百万円×2回(演劇)	29			
計		129	計		0
B.芸術団体等(全4団体)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	@34.9百万円×7地域(オペラ・バレエ)	245			
公演費	@10.3百万円×7地域×2回(演劇)	144			
計		389	計		0
C.芸術団体等(全2団体)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	@14.7百万円×2団体	29			
計		29	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	事業効果調査費	8			
計		8	計		0